

令和8年度 第1回鶴岡市学校給食センター運営委員会 会議録

I 会議概要

- 日時 令和8年7月29日（水）15時00分～16時15分
- 場所 鶴岡市学校給食センター 2階会議室
- 出席委員 12名 会議資料に記載
- 事務局 会議資料に記載
- 傍聴者 2名

II 会議次第

1. 開会
2. あいさつ 教育長
3. 委員長、副委員長の選出
4. 報告
 - 報告第1号 令和7年度鶴岡市学校給食センター運営状況について
 - 報告第2号 令和8年度鶴岡市学校給食センターの運営方針について
 - 報告第3号 新学校給食センター整備事業の進捗について
5. 協議
 - 議第1号 鶴岡市学校給食センター運営委員会における委員の代理出席に関する内規の制定について
6. 意見交換
 - 鶴岡市の学校給食にかかる子育て世帯の負担軽減施策について

III 会議録

3. 委員長、副委員長の選出

委員長及び副委員長の選出について諮ったところ、事務局案をもって決定された。

委員長・・・佐藤康博 委員（広瀬小学校PTA会長）

副委員長・・・百瀬俊悦 委員（大泉小学校校長）

4. 報告（議長 佐藤委員長）

報告第1号 令和7年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（資料により説明）

報告第2号 令和8年度鶴岡市学校給食センターの運営方針について（資料により説明）

伊藤所長より、米飯の提供体制の変更について、令和8年3月の運営方針策定時点では、1学期の間は緊急的に処置し、2学期からの復旧に努めるとしていたが、現段階で、2学期からほぼ元の状態に戻せる見通しとなったこと。また学校及び対象校の保護者へは通知済みである旨を補足で報告した。

質問、意見なし。

報告第3号 新学校給食センター整備事業の進捗について（資料により説明）

質問、意見なし。

5. 協議

議題第1号 鶴岡市学校給食センター運営委員会における委員の代理出席に関する内規の制定について（資料により説明）

質問、意見なし。

挙手多数により承認された。

6. 意見交換（進行 伊藤所長）

議題 鶴岡市の学校給食にかかる子育て世帯の負担軽減施策について（資料により説明）

委員：無償化は家庭にとって大変重要であると思うが、実際の現場としては、栄養などを考えると、もっとよい食材などを充実させたいと考えているのか。私自身は、足りているのだろうと思っていたので、お聞きしたい。

伊藤所長：まずは、しっかり栄養が取れるよう献立を作成している。満腹感や見た目にも気を配っているが、食べる量の個人差もあり、様々な意見があると認識している。

関連する話題として申し上げるが、国県からの小学校への食材費の支援の月額5,200円は、全国のおおよその平均額と聞いている。また、山形県の学校給食に関する調査結果がホームページに公開されており、令和7年度の給食費において、鶴岡市は小学校が6,091円、中学校が7,091円で、県平均の5,758円と6,471円を上回っている。

委員：食物アレルギー等による弁当対応者は、現在何人程度いるか。

伊藤所長：学校への聞き取りによると、弁当対応は4名と把握している。

委員：地産地消について、地産地消を増やせば、1食当たりの金額が高くなるという理解で正しいのか。また、資料12ページの「令和7年度学校給食における地産地消使用量」では地域ごとの開きが大きい。同じ庄内であるにもかかわらず、なぜここまで開きが出るのか。

伊藤所長：1点目の、地産地消に取り組むと単価が高くなるのかということについては、その傾向にあるかと思う。

2点目の地域差については、資料の13ページが、鶴岡産の食材の納入体制である。鶴岡の場合は、食数が多く、それに対応するだけの鶴岡産食材の確保が難しい傾向にある。朝日のセンターでは、食数自体が少ないため、確保しやすいという点はあると考えている。

7. その他

なし。

（閉 会）